

令和7年度 浪速区運営方針の達成状況

(令和8年度第1回 浪速区区政会議用資料)



経営課題1 安全・安心で住みやすいまちづくり

[R5決算:5百万円 R6決算:12百万円 R7予算:19百万円]

課題認識

- 家庭における備蓄などの重要性やマンションの特性に応じた防災対策の普及啓発(「自助」の取組)
- 自主防災組織の体制充実や運営スキルの向上を図り、災害時に支援が必要な区民の安否確認や避難誘導などにつながる共助を推進すること(「共助」の取組)
- 区役所職員の災害への対応能力の向上(「公助」の取組)
- 「自助」「共助」「公助」の推進にあたっては、女性の視点からの取組がさらに必要
- 関係機関と連携して区民の自主的な防犯活動を支援し、犯罪が発生しにくい環境づくりに取り組むこと

主な戦略

- 自助・共助の促進と、減災のための環境整備など
- 地域や関係機関等との連携・協働による地域防犯力の向上
- 大阪市通学路安全プログラムの取組や「子ども110番の家」など、子どもの安全確保に向けた取組



取組内容

- 自宅避難や備蓄の重要性などの広報啓発(広報なにわ特集掲載等)
- マンション住民や管理組合、企業、中学校等への防災啓発の実施
- 地域での防災訓練及び区全職員と関係機関の連携による防災訓練の実施
- 個別避難計画(個別支援プラン)の作成
- 備蓄物資の拡充(防災用テント(100周年寄贈)、鍋、おたま)
- 公管理による防犯カメラの効果的・効率的な設置と維持管理など
- 落書き被害への支援や落書き一掃大作戦の実施
- 大阪市通学路安全プログラムで把握した危険箇所等への対策の実施
- 「こども110番の家」の周知による地域協力体制の強化(広報なにわ・区民まつり)
- 警察と連携した小学生対象の防犯教室の実施

評価指標の達成状況

- ① 区民アンケートにおいて、家庭で備蓄していると回答した人の割合
- ② 災害時の安否確認や避難支援、避難所運営の体制が整っている地域
- ③ 行政、地域、企業(事業所)、学校等が連携した防災訓練の実施
- ④ 人口100人あたりの年間街頭犯罪発生件数



◆地域避難所開設運営訓練



◆落書き一掃大作戦

	目標	実績	達成状況	前年実績
①	50%	48.9%	未達成	54.2%
②	11地域	11地域	達成	11地域
③	1回以上	1回	達成	1回
④	0.92件	1.10件	未達成	1.20件

経営課題2 健やかで人と人がつながるまちづくり

[R5決算:23百万円 R6決算:24百万円 R7予算:20百万円]

課題認識

- 高齢者や障がい者などの支援を必要とする人が、孤立しないようにすること
- 認知症高齢者の方が利用する施設への見守り協力の輪を展開すること
- 支援を必要とする人を必要な福祉サービスへと適切につなげていくこと
- 複合的な課題を抱えた方を的確に支援するため、分野を横断する総合的な支援体制を充実すること
- 生活習慣病の改善や健康づくりのサポートと、特定健診・がん検診の受診勧奨
- 単身高齢者が、健康に住み慣れた地域で安心して暮らせるようにすること

主な戦略

- 地域での見守り活動の活性化
- 適切な福祉サービスへとつなげる体制づくりと、さまざまな広報活動
- 健康寿命延伸の取組
- 地域の医療・介護関係者と連携した取組



取組内容

- 要援護者名簿を活用した地域見守り会議の開催
- 総合的な支援を行う「つながる場」などの活用による関係機関の連携強化
- 【予約なし】がん検診を実施するなど、受診対象者のさまざまなニーズへの対応
- 多職種連携研修会を開催し、医療・介護事業者等による事例検討、医師とケアマネジャー等の連携を促進

評価指標の達成状況

- ① 要援護者名簿を活用し、地域に応じた見守り会議が開催されている地域
- ② 区民アンケートにおいて、高齢者や障がいのある方が安心して暮らし続けられるまちだと肯定的な回答をした人の割合
- ③ 特定健診及び各種がん検診の受診率(R8.10月頃に実績確定)
- ④ 医師と円滑な連携ができていると感じるケアマネジャーの割合
- ⑤ 区民アンケートにおいて、介護予防や生活習慣病予防に取り組んでいると回答した人の割合



◆地域見守り会議



◆多職種連携研修会

	目標	実績	達成状況	前年実績
①	11地域	11地域	達成	8地域
②	55.7%	49.3%	未達成	45.1%
③	特定検診17.9% がん検診(胃がん3.2%、大腸がん3.1%、肺がん3.1%、子宮頸がん7.9%、乳がん6.9%)	未確定	—	特定検診19.2% がん検診(胃がん1.8%、大腸がん2.0%、肺がん1.9%、子宮頸がん9.2%、乳がん5.9%)
④	80.0%	75.8%	未達成	74.0%
⑤	介護74.6% 生活86.7%	介護87.1% 生活92.1%	達成	介護76.8% 生活84.7%

経営課題3 安心して子育てができ、 子どもたちがいきいきと学べるまちづくり

[R5決算:37百万円 R6決算:45百万円 R7予算:48百万円]

課題認識

- 孤立感や育児不安に陥りやすい環境にあるため、支援が必要な世帯を早期に発見し、的確な支援へつなげること
- 相談しやすい環境と、多様な相談内容に応えられる体制づくり
- 子育て世帯が必要としている情報を手軽にかつ的確に得られるようにすること
- 経済的に厳しい家庭や、外国につながりをもつ住民など、区の実情に応じた教育施策・学校支援
- 基礎学力・体力が大阪市平均を下回っているため、子どもたちの健やかな成長を支える学校教育環境を充実させること

主な戦略

- 子育て世帯の多様な相談や支援ニーズへの対応
- 子育てしやすい環境づくり
- 学校教育環境の充実支援



取組内容

- 学校や保育施設等の関係機関との連携強化、積極的なアウトリーチ
- 子育てイベントの実施による、こどもや保護者同士の交流機会の創出
- SNS等を活用した子育て情報の発信
- 中学生及び小学5、6年生を対象とした「なにわ学び教室」の実施
- 日本語サポーターの配置
- 小学校を対象とした漢字能力検定の受検支援
- 学校の教育環境を向上させるための教材費等の購入支援
- 登校支援サポーターの配置

評価指標の達成状況

- ① 重大な児童虐待ゼロ
- ② 子育て層に対するアンケート調査で「子育てについて気軽に相談できる人や場所がある」と回答した人の割合
- ③ 区が、学校・地域の実情に応じた学校教育支援を行っていると感じている学校、学校協議会委員等の割合
- ④ 「全国学力・学習状況調査」における1つ以上の教科において、平均正答率が大阪市平均を上回った学校の割合



◆子育てイベント(なにわっ子フェスタ)



◆日本語サポーターの配置

	目標	実績	達成状況	前年実績
①	0件	0件	達成	1件
②	100%	100%	達成	99.1%
③	90%	94.6%	達成	92.1%
④	50%	22.2%	未達成	22.2%

経営課題4 人が集い、にぎわいと活力のあるまちづくり

[R5決算:780千円 R6決算:1,150千円 R7予算:1,126千円]

課題認識

- 民間との連携によるイベントなど、まちの魅力を発信し、区の内外からの集客を充実させること
- 外国人住民が安全・安心で快適に生活できる環境づくりのサポート
- 外国人住民と地域住民が様々な交流を通じて相互理解を深めることで、多文化共生の地域づくりを進めること

主な戦略

- 区内外からの集客の取組を促進し、浪速区の魅力を積極的に発信
- 外国人住民が住みやすく活躍できる取組



取組内容

- 様々な浪速区制100周年記念事業や地域活性化イベントを、区内団体や企業等と連携して実施
- 協定等を締結している企業とのマッチング、官民連携の取組を推進
- 各種イベントなどでの、ステッカー等を活用した区SNSへの登録勧奨
- 区政情報やイベント情報の多言語による発信など

評価指標の達成状況

- ① 主な駅(難波駅、大国町駅、新今宮駅)の乗車人員
- ② 浪速区Facebook等SNS登録者数
- ③ 外国人住民と接する機会が増えたと感じ、そのことを肯定的に評価する区政会議委員の割合



◆100周年記念事業
(こどもの集い)



◆地域活性化イベント
(日本橋ストリートフェスタ)



◆連携企業による小学校での出前授業
(ラグビー体験教室)

	目標	実績	達成状況	前年実績
①	前年度以上	南海難波駅:93,457人 OsakaMetro大国町駅:20,326人 南海新今宮駅:26,802人 JR新今宮駅:63,114人	達成	南海難波駅:89,789人 OsakaMetro大国町駅:17,688人 南海新今宮駅:25,909人 JR新今宮駅:60,984人
②	前年度以上	3,386人	達成	2,873人
③	80%	77.8%	未達成	81.3%

経営課題5 人と人がつながり、 住民が主体となって進めるまちづくり

[R5決算:39百万円 R6決算:39百万円 R7予算:41百万円]

課題認識

- 地域活動協議会の理念や活動に対する区民の認知度を高めること
- 地域活動協議会の自律的な地域運営と地域特性に応じた支援
- 多様な主体による連携・協働の実現と、地域住民の「つながり」意識の向上

主な戦略

- 地域活動協議会による自律的な地域運営を支援
- 地域でのつながりづくりに向けた取組



取組内容

- 各地域の活動情報を区広報紙において毎月連載するとともに、SNSにより地域行事の情報を随時発信
- 居住地の町会と繋がるQRコードを掲載する「町会加入促進チラシ」を転入時、区民まつりおよび各地域の行事等で配布
- 市営住宅の自治会長に町会加入の働きかけを行うとともに、不動産会社を通じてマンション住民に対し、「町会加入促進チラシ」を配布
- まちづくりセンターを活用し、地域活動協議会のDX化を支援するスマホ相談室の開催や、企業や学校を通じて、現役世代の地域活動参加を促進
- まちづくりセンターを活用して各地域の広報紙発行や会計事務をサポート

評価指標の達成状況

- ① 地域活動協議会の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思う割合

	目標	実績	達成状況	前年実績
①	95%	81.8%	未達成	81.8%



◆町会加入促進チラシ



◆地域イベントの様子

運営方針全体の自己評価

- 令和7年度は、令和4年度からの「浪速区将来ビジョン2025」の計画年度の最終年度にあたり、設定した全17の評価指標(実績未確定1)のうち、半数以上の9指標で目標を達成した。
- 未達成の指標についても、街頭犯罪発生件数や医師とケアマネージャーとの円滑な連携にかかる数値などは、前年度実績と比較して改善しており、区民サービスの向上と効果的・効率的な区政運営の推進に努めた。
- また、浪速区制100周年を契機に、地域や区内企業等と連携し、各種記念事業を実施した。これにより、団体等が相互に活動内容を理解し、つながりを深めるとともに、区民のまちへの愛着を醸成することができた。

今後の方針

- 令和8年度以降は、新たに策定した「浪速区将来ビジョン2026-2029」に基づき、「みんなが幸せで、住み続けたいまち 浪速区」の実現に向けて、浪速区の良さを活かしながら、誰もが幸福に暮らせる、安全・安心で暮らしやすさを高める取組を推進することとしており、
 - I. 安心して子育てができ、子どもたちがいきいきと学べるまちづくり
 - II. 健やかで人と人がつながるまちづくり
 - III. 安全・安心で住みやすいまちづくりの3つの施策を柱として展開していく。